

【畜産情報】かごしま畜産の日

<かごしま畜コミ・インフォ>

毎月 29 日（2 月は 9 日）は「かごしま畜産の日」！

■口豚熱，アフリカ豚熱及び口蹄疫について□■

豚熱については、国内で広く野生いのししの感染が確認されており、4 月には宮崎県で新たに感染事例が確認されています。

また、近隣諸国においては、アフリカ豚熱，口蹄疫等の家畜伝染病の発生が継続的に確認されています。

特に、3 月に韓国では 1 年 10 ヶ月ぶりに牛で口蹄疫の発生が確認されて以降、4 月には豚でも続発しており、我が国への侵入リスクが高い状況が続いています。

改めて、飼養衛生管理を再点検していただき、管理の徹底を図るとともに、家畜の異状を確認した場合の早期通報の徹底をお願いします。

◎毎月 29 日には、畜舎等の消毒を徹底するとともに、飼養衛生管理に漏れがないか、点検を実施しましょう！

「飼養衛生管理基準」のポイント

- 最新情報（衛生・防疫）の確認
- 衛生管理区域の設定と消毒の徹底
 - ・衛生管理区域専用の作業衣・靴の設置
 - ・定期的な畜舎，器具の清掃・消毒
 - ・畜舎出入時の手指，作業衣，靴の消毒
 - ・外部からの人，車両の進入の制限
 - ・畜産関係施設での交差汚染防止対策の徹底
- 野生動物や衛生害虫の侵入防止，駆除
- 家畜の健康管理と早期通報
 - ・農場に立ち入った人，車両，導入家畜の記録
 - ・外部からの導入家畜の隔離と健康観察
- 家畜伝染病の発生に備えた埋却地の準備

■口ランピースキン病について□■

- ・牛や水牛に感染する伝染病です。
- ・令和6年11月に福岡県の乳用牛飼養農場において、国内で初めてランピースキン病の発生が確認されました。
- ・これまでに2県22農場において累計230頭の発症が確認されています。
- ・熊本県では、発生農場から導入された牛に起因する発生が確認されており、導入牛の隔離飼育やサシバエなどの吸血昆虫の駆除が重要です。
- ・本病を疑う臨床症状を観察した場合には家畜保健衛生所に早期通報をお願いします。

【対策】

- (1) 毎日の健康観察，疑わしい牛の隔離，異常発見時の早期通報
- (2) 牛の農場外出荷時における健康状態の確認
- (3) 殺虫剤散布等の害虫駆除，飼養器具の消毒の徹底

■□鳥インフルエンザについて□■

- 高病原性鳥インフルエンザは，4月29日時点で，今シーズン14道県51農場で発生が確認され，本県においても出水市，霧島市にて3事例確認されています。
- また，今月（4月）に，奄美大島で回収された野鳥の検査で初めて，鳥インフル「H5亜型高病原性」と判定されました。
- 引き続き，高い防疫意識で更なる警戒と対策の徹底強化をお願いいたします。
- 改めて，飼養衛生管理の徹底，特にカラス等の野生動物の侵入防止対策の徹底をお願いします。

【衛生対策】

- (1) 農場に出入りする車両，持ち込む物品の消毒
- (2) 農場に出入りする人の作業着の更衣，長靴の履き替え，並びに消毒
- (3) 鶏舎内に入る際の手指消毒，長靴の消毒と履き替え
- (4) 農場敷地の消毒（乾燥しているときは，消毒液の噴霧や散水による塵埃対策）

【野生動物等の対策】

- (1) 農場周辺のため池の水抜き
- (2) 忌避テープ等の設置

- (3) 止まり木となる枝の剪定
- (4) カラスやネコ等の忌避対策
- (5) 死鳥・廃棄卵の適切な処理

○県内の鳥インフルエンザ発生状況（今シーズン）

- (1) R6.11.20 出水市 採卵鶏 約 11.3 万羽
- (2) R6.12.20 霧島市 肉用鶏 約 9.0 万羽
- (3) R7.1.7 霧島市 肉用鶏 約 12.0 万羽

☆個々の農場で！地域ぐるみで！

農場防疫（バイオセキュリティ）対策の徹底をお願いします！！

署名

鹿児島県農政部家畜防疫対策課

TEL099-286-3224

○鹿児島県☆獣医師募集中.*

令和7年度も募集予定です。

皆様方のご親戚やお知り合いの方々，在学生，後輩などに，受験者の募集について御周知いただければと思います。

※詳しくは畜産振興課管理係まで(099-286-3216)

○N O S A I かがしま☆獣医師募集中.*

※詳しくはN O S A I かがしままで(099-255-6161)